



2021年2月12日

各 位

会 社 名 株式会社ユニバーサルエンターテインメント
代表者名 代表取締役社長 富士本 淳
(JASDAQ・コード 6425)
問合せ先 執行役員 経営企画室長 竹内 東司
電話番号 03-5530-3055 (代表)

統合型リゾート (IR) 事業の米国証券取引所への上場検討について

当社は、本日開催の取締役会において、当社グループがフィリピンで展開している統合型リゾート (IR) 事業の運営会社をSPAC (Special Purpose Acquisition Company) を利用して米国NASDAQ市場またはニューヨーク証券取引所のいずれかに上場する方向で検討に入ることを決定いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

フィリピンにおける統合型リゾート (IR) 事業につきましては、2016年12月に一部営業を開始して以来着実に業績を伸ばしてまいりました。2020年度は、新型コロナウイルスの感染拡大により非常に限られた条件のもとで営業を行ってまいりましたが、その間懸案であった固定費の削減、マーケティングの強化など、収益力強化のための様々な施策を展開してきました。2020年度に達成された費用削減の多くを新型コロナウイルス感染症の収束後も継続し、今後の事業価値増大につなげていく所存です。

こうした状況を踏まえ、当社といたしましては、統合型リゾート (IR) 事業をグループの中核事業と位置づけ、そのさらなる事業拡大と企業グループ価値の増大を目指して、今般、米国NASDAQ市場またはニューヨーク証券取引所のいずれかへの上場を具体的に検討することといたしました。

当社は、NASDAQ市場またはニューヨーク証券取引所のいずれかへの上場準備のため、すでに日米の金融アドバイザー数社とアドバイザー契約を締結し、SPACの選定、法令および税制面の調査、グループ全体の資本構成の見直し等を行っており、2021年度中の上場を目指します。

なお、業績への影響を含め、今後公表すべき事項が発生した場合には速やかにお知らせいたします。

※SPACを利用した上場は、米国証券取引所への上場手法として主流となりつつありますが、その概要につきましては、別紙をご参照ください。

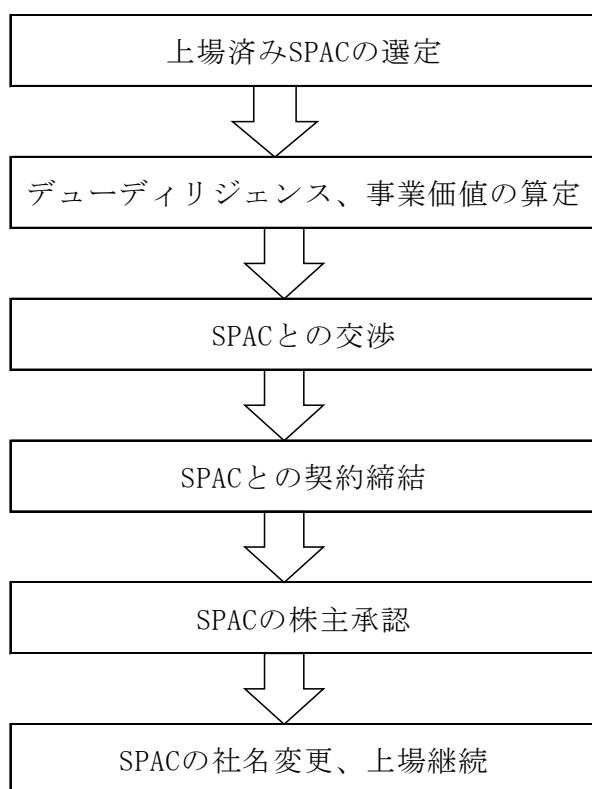
以 上

(別紙)

1. SPAC を利用した上場について

- (1) SPACとは、Special Purpose Acquisition Companyの略で、日本語では特別買収目的会社などと訳されます。
- (2) 上場時点で事業主体がなく、投資対象も決まっていないため、より強固な投資家保護の仕組みが整備されているという特徴があります。
- (3) 法律上は、Partnershipとして設立されるPrivate Equity (PE) とは異なり、株式会社として設立されます。

2. SPAC を利用した上場の流れ



3. SPAC の投資家保護の仕組み

- (1) 投資家から調達した資金の大部分（9割以上など）に預託義務（一部分はSPACの運転資金）があります。
- (2) ターゲット企業の買収価格は、SPACの純資産価格の8割以上である必要があります。
- (3) 買収完了には、投資家（株主）の過半数の承認が必要（20%以上の反対があれば、買収中止・SPACを清算して投資家に資金返還）となります。
- (4) SPAC上場から一定期間（18～24ヶ月）に買収完了しない場合、SPACを清算して投資家に資金が返還されます。